

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 二級河川二河川水系稚川支川外砂防工事に伴う全体計画書作成業務

事業・工事名

調査目的及び調査対象 砂防 構造物基礎

ボーリング名	苗洗川R2-B-1	調査位置	広島県安芸郡熊野町萩原 地内	北緯	34° 20' 49.6747"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和2年 9月14日～ 令和2年 9月17日	東経	132° 35' 46.7235"
調査業者名		主任技師		現場代理人	
孔口標高	T P 267.41m	角	180° 上 90° 下 0°	方	0°北 270°西 0°東 90°南
総削孔長	10.00m	度	0°	地盤勾配	0° 鉛直 90°
				使用機種	試験錐機 YBM 1WA型 エンジン ヤンマー TF90V-E型
				コピ定者	ポンプ YBM GP-5型
					ボーリング責任者

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記号	記述	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試料採取		室内試験	削孔月日		
												深度 - N 値 図			深	100mm毎の打撃回数	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深			試料番号	
	266.51	0.90	シルト混り砂	シルト混り砂	黄灰 rd1	黄灰	rd1			現世土石流堆積物 ・ 基質支持の稀流状を示す ・ 砂は細-中粒砂、細粒分及び細礫を伴う	▽	1.00	1	1	1								
	264.91	2.50	シルト質砂	シルト質砂	黒褐 rd1	黒褐	rd1			湿地堆積物 ・ 塑性性を示す腐植混じる湿地堆積物 ・ 基質は上位の土石流堆積物と混交し粒径幅広く、旧底質土は不明瞭に分布 ・ φ2-5mm程度の細礫及び鉱物片を含む ・ 含水比は中位		1.45	450	450									
	264.61	2.80	軽石	軽石	黄灰	黄灰				花崗岩質軽石 ・ C織程度の非常に堅硬な軽石		2.15	1	1	1								
	264.41	3.00	シルト質砂	シルト質砂	黒褐 rd2	黒褐	rd2			湿地堆積物 ・ 礫は中-粗礫が混入、クサリレキ点在 ・ 基質支持を示す		2.45	300	300									
	263.51	3.90	砂混り砂質土	砂混り砂質土	淡青 rd3	淡青	rd3			土石流堆積物 (新期産離堆積物) ・ 礫は中-粗礫が混入、クサリレキ点在 ・ 基質支持を示す		3.15	3	4	3	10							
	261.71	5.70	玉石混り砂礫	玉石混り砂礫	黄灰 rd3	黄灰	rd3			土石流堆積物 (新期産離堆積物) ・ 玉石は確認石長1-10cm程度が混入 ・ 礫はφ20-50mm程度の中-粗礫 ・ 基質は細粒分を伴う粒度不均一な砂質土		4.45	7	5	4	16							
	260.41	7.00	花崗岩	花崗岩	黄褐	黄褐				角閃石黒雲母花崗岩風化土 (DM) ・ 風化変質が進行し岩質は軟質化 ・ 原岩組織は明瞭に残存 ・ 採取試料は土柱状を示すが脆く、指圧で凹むうえ、容易に圧潰される		4.45	19	27	4	50	210						
	259.61	7.80	花崗岩	花崗岩	淡灰	淡灰				角閃石黒雲母花崗岩強風化岩 (DH) ・ 上位同様に風化変質が進行し岩質軟質化 ・ 岩相不均質、濃緑色の角閃石がやや目立つ中-粗粒角閃石黒雲母花崗岩 ・ 岩質はやや軟質化、採取試料は短柱-岩片状を示し、水平状の節理が発達 ・ 場所的に岩質やや堅硬なDM織程度の風化核が残留		5.15	1	1	1	3							
	257.41	10.00	花崗岩	花崗岩	淡灰	淡灰				角閃石黒雲母花崗岩風化岩 (DM) ・ 岩相不均質、濃緑色の角閃石がやや目立つ中-粗粒角閃石黒雲母花崗岩 ・ 岩質はやや軟質化、採取試料は短柱-岩片状を示し、水平状の節理が発達 ・ 場所的に岩質やや堅硬なDM織程度の風化核が残留		5.45	15	16	16	47							
												6.15	15	16	16	47							
												6.45	19	27	4	50	210						
												7.15	19	27	4	50	210						
												7.35	19	27	4	50	210						
												8.00	貫入不能	貫入不能	50	0							